

Newsletter

No.15 (2005.3.14 発行)

JAICOWS 総会・講演会・シンポジウムのお知らせ

下記の要領で JAICOWS 総会と講演会、シンポジウムを開催します。多数の皆様のお集まりをお待ちしています。

JAICOWS 会長 原ひろ子

日 時：2005年3月28日(月)

場 所：専修大学7号館3階731教室・7階774教室

11:00~12:00 JAICOWS 役員会 (774 教室)

13:00~14:00 JAICOWS 総会 (774 教室)

14:00~14:40 講演会 (731 教室)

大倉多美子(慶應義塾大学先端医科学研究所教授)「生活習慣病と東洋医学」

14:50~16:30 シンポジウム (731 教室)

テーマ「変容する男性のジェンダー観」

長野ひろ子(中央大学経済学部教授)「明治前期男性ジャーナリストのジェンダー観」

江原由美子(東京都立大学人文学部教授)「現代都市在住男性のジェンダー観」

総会出欠の有無・委任状を同封のはがきで3月22日までにご返送ください。

日本学術会議の動向について

日本学術会議の動向について概略を知るためにちょうどよい総会報告が第2部のニューズレターにありましたので、広渡先生のご許可を得て抜粋して掲載させていただきます。

日本学術会議秋期総会(第143回)の報告

(「日本学術会議第2部ニューズレター第19期第6号」2004年12月24日発行より引用)

広渡清吾(東大教授、日本学術会議第2部長)

I. 秋期総会の報告

2004年10月26、27日に日本学術会議の秋期総会(第143回)が開催されました。

日本学術会議は、ニューズレター第4号でご報告したように日本学術会議法の改正に基づい

て来年10月から新体制が発足するので、これを控えて、今期第19期における活動を取りまとめながら、同時に新体制の円滑な運営に資するための準備を進めています。総会ではこれらについて報告と活発な議論が行われました。

1) 今期における活動の現在の焦点は、総合的な研究テーマごとに設けられた7つの特別委員会（「子どもの心」、「安全・安心な世界と社会の構築」、「循環型社会と環境問題」、「若者の理科離れ」、「大都市をめぐる課題」、「人口・食料・エネルギー」、「生命倫理」）の活動であり、また、継続中の「第2期科学技術基本計画」（2001-2005）の成果のレビューおよびこれから策定予定の「第3期科学技術基本計画」に対する提案等の検討です。

特別委員会は、それぞれのテーマにしたがって審議を行い、公開シンポジウムの開催などを通じてその成果を社会との交流において活かしながら、最終的には「対外報告」をとりまとめて、必要な政策提言を関係各機関に行うことを課題にしています。これら7つの委員会の活動は、大きな一つの括りの下に、日本学術会議の社会への提言としての意義をもつものとなるように位置づけられています。第2部は、「安全・安心な世界と社会の構築」特別委員会を担当していますが、同委員会は2005年1月28日午後日本学術会議講堂で公開シンポジウムを開催する予定です。

「科学技術基本計画」は、1995年制定の科学技術基本法に基づいて政府が策定するものです（法9条「政府は、……科学技術の振興に関する基本計画を策定しなければならない」）。もともと科学技術基本法はその振興の対象とする施策領域を「科学技術（人文科学のみに係わるものを除く）」（ここでの「人文科学」は社会科学を含む趣旨）と規定しています（法1条）。しかし、科学技術基本計画は、大学における研究のシステムやあり方、財政システムなども施策の対象にしており、また、総合科学技術会議の発足（2001年1月）以降は、「自然科学と人文・社会科学を総合した科学技術を対象」として議論が行われるようになっていきます。

人文・社会科学、法学・政治学を発展させる立場から、科学技術基本法と基本計画の体

制およびその具体的な内容をどのように位置づけるかは重要な課題となっています。この課題は、政策的にどのように対応するかという問題であると同時に、日本の学術体制の基盤を分析するという研究課題でもあります。日本学術会議では科学技術基本計画に関する「レビュー委員会」が設置されており、そこではこうした問題意識も含めて議論が進められ、第2期のレビューと第3期への提言がまとめられる予定です。これに関連して、第2部の基礎法学・比較法学の合同研究連絡委員会では、科学技術基本法体制についての調査研究を行うことを課題にして取り組んでいます。

2) 新体制に向けての準備については、日本学術会議会長のもとに外部の有識者6名からなる「日本学術会議の新しい在り方に関する懇談会」が設置され、ここに学術会議の各部、各常置委員会等の意見を集約して報告をとりまとめ、これを新学術会議に引き継ぐこととなっています。

懇談会は、2004年10月に活動を始めました。懇談会の委員は次の通りです。

遠藤 実	東京大学名誉教授
大谷 実	学校法人同志社総長
土居範久	中央大学理工学部教授
原ひろ子	放送大学教授
古田勝久	東京電気大学教授
森脇和郎	理化学研究所バイオリソースセンター所長

各学協会および各研究連絡委員会の意見も各部などを通じて懇談会に提出することができます。懇談会の検討事項としては、①連携会員の在り方等、②国際交流活動の在り方、③学術研究団体との連携の在り方、④政策提言機能の発揮の在り方、⑤幹事会（現在の運営審議会に代わって設置される学術会議の運営機関）への（総会からの）権限委任事項等、⑥部会の位置づけ（現在の7部会が3部会になる）、⑦委員会の役割・編成・構成等、が予定されています。

第2部では、学協会や研連からの意見もお聞きしながら、拡大役員会（部長・副部長・幹事および在京会員）で審議を行い、第2部の意見を取りまとめて懇談会に提出する方針です。

上記の検討事項のなかでとりわけ重要なのは、学術研究団体との連携の在り方です。前号のニューズレターでも指摘しましたように、これについては学術会議側の制度的な対応とともに、学協会側のボランタリーなイニシアチブが求められていると考えられます。今後、この課題については第2部としてとくに重要視して検討を進めます。これに関して第2部から学術会議の7つの部の情報交換と交流の機会を持つように運営審議会で提案をいたしたところです。

II. 新日本学術会議の会員候補者の選考について

新日本学術会議の会員候補の選考については、改正法に基づき、8月に「日本学術会議会員候補者選考委員会」が発足し、活動を始めました。この選考委員会は、日本学術会議会長が任命した30名の委員からなり、委員長には吉川弘之氏（前日本学術会議会長）が就

任しています。

選考委員会は、各領域毎に専門委員を任命して選考の具体的作業を進めています。現在、選考委員会は、選考作業の重要な一環として、各学協会に対して会員候補者に関わる情報提供の依頼を行っています。依頼の内容は、学会の会員数に応じて情報を提供すべき科学者の数が指定され、かつ、そのなかに地方在住者（東京圏に在勤・在住していない者）、若手科学者（会員となるときに50歳未満）、女性科学者、および実務経験者（現在実務に従事、または10年以上の実務経験者）について一定割合を含むべきことが要請されています。この依頼は、各大学・研究機関に対しても行われていますが、この場合には依頼数は一律3名となっています。

この科学者情報の提供依頼は、会員選考にとどまらず、その後の連携会員選考にも資料とするという位置づけを与えた上で行われています。こうした情報提供依頼のシステムは、新日本学術会議が発足したあとの会員選考・連携会員選考について、また、新学術会議と学協会との連携関係を考えるうえでの重要な先行経験となるものと思われるので、各学協会に積極的な対応をお願いしたいと存じます。

日本学術会議会員についての要望書の提出についてご報告

Jaicows のニューズレター前号に掲載しました戒能通厚日本学術会議副会長から第2部会員にあてたお手紙にありましたように、日本学術会議改正法が可決され、2004年8月に「日本学術会議会員候補者選考委員会」が発足しました。この選考委員会メンバーは、以前お知らせしたように、現日本学術会議黒川清会長が学士院会長、薬師寺泰蔵議員などと協議し任命するとされていましたが、その後、メンバーが確定しました。30名の委員からなり、委員長には吉川弘之氏（前日本学術会議会長）が就任されました。そこで Jaicows は昨年9月27日に臨時役員会を開き、日本学術会議会員候補の選考にあたって女性の割合を3割にすることについての要望書を選考委員会などにあてて提出することに決定致しました。要望書は黒川会長あて、薬師寺議員あてのほか、他の選考委員にもなるべくお知り合いの Jaicows 会員から説明しつつお渡しするようにしました。あて先によって若干要望書の文面は異なりますが、委員長あての縮小コピーを掲載します。

要望書

平成 16 年〇月〇日

「日本学術会議会員候補者選考委員会」委員長

吉川弘之殿

女性科学研究者の環境改善に関する懇談会 (JAICOWS)

会長 原ひろ子

(日本学術会議第 17, 18 期第一部会員、第 18 期第一部副部長、
第 16, 17, 18 期文化人類学・民俗学研究連絡委員会委員)

(放送大学教授)

JAICOWS 総会出席者一同

日本学術会議会員候補者の女性比率を 3 割以上とすることについて

日本学術会議会員候補者選考委員会におかれましては、今後の日本における学術の進展と学術と社会との密接な関係性の構築をはじめ、学術研究者の役割と責任に関し幅広い見地にお立ちになり日本学術会議法改正法に基づく日本学術会議の会員候補者の選考にあたられていることに深い敬意を表します。

私ども JAICOWS は、日本学術会議会員および研究連絡委員会委員の女性メンバー（現・前・元）により構成される任意団体で、学術の世界における男女共同参画の推進のための活動をいたしております。21 世紀の持続可能な地球社会の構築のためには、国内的にも、国際的にも、男女共同参画の視点が重要不可欠であると認識されております。

この度、日本学術会議法改正法に基づき、日本学術会議会員候補者の選出に際し、学術における男女共同参画の推進にご配慮いただけることを確信しつつ、下記の件を要望いたします。

記

1. 日本学術会議会員候補者の女性比率を 3 割以上とすること。

ジェンダー関連の学会、シンポジウムなどのご案内

いくつか寄せられたご案内を順不同で掲載します。

1. ジェンダー法学会を傍聴しませんか

2003 年に、「ジェンダー法学会」が設立されました（事務局、立命館大学法学部二宮研究室）。これまでジェンダーの視座の導入が遅れていた法学分野（日本学術会議でいえば第 2 部）にも、ジェンダー法学という新しい学問領域が切り拓かれたことによって、ようやく新しい風が吹き始めました。

2003年12月には第1回の学術総会が開かれ、早稲田大学にて、①「ジェンダー法学教育の現状と課題」、②「女性差別撤廃条約」という2つのシンポジウムが行われました。この内容は、機関誌『ジェンダーと法』第1号（日本加除出版）に掲載されています。

2004年12月には、専修大学にて、①「人身売買防止法をめぐって」、②「暴力とジェンダー：法的視座の転換」という2つのシンポジウムが行われました。現在、この内容は『ジェンダーと法』第2号にとりまとめられようとしています。

さて、2005年12月3日（土）と4日（日）は、東北大学で、第3回目の学術総会が行われます。シンポジウムのテーマは、①「男女共同参画政策の検証」、②「少子化社会のジェンダー法学的分析：労働・家族・自己決定」です。詳しいことは、そのうちに、ジェンダー法学会のホームページ（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/genderlaw/>）に掲載されますので、ご覧ください。どなたでも傍聴は自由です。法学の分野でどのような議論が行われているか、皆さんもちょっとしたのぞいてみませんか。（早稲田大学 浅倉むつ子）

2. ジェンダー史学会 公開シンポジウムのお知らせ

シンポジウム 「戦争体験と記憶」

日時：2005年5月22日（日） 13：00～16：00

会場：中央大学駿河台記念館 280号室

（東京都千代田区神田駿河台3-11-5）

JR 御茶ノ水駅・地下鉄新御茶ノ水駅徒歩3分）

報告者：香川 檀（武蔵大）、永原陽子（東京外大）、米田佐代子（ジェンダー史学会参与）

モデレーター：田丸理沙（フェリス学院大）、早川紀代（ジェンダー史学会理事）

（中央大学 長野ひろ子）

3. 21世紀の社会とジェンダー研連主催のシンポジウムのご案内

シンポジウム 「ジェンダーと人間の安全保障」

日時：2005年6月4日（土） 13：00～17：00

会場：神戸大学六甲台キャンパス・フロンティア館3階（プレゼンテーションホール）

主催：日本学術会議「21世紀の社会とジェンダー」研究連絡委員会

共催：東北大学COEプログラム「男女共同参画社会の法と政策—ジェンダー法・政策研究センター」

プログラム

開会挨拶 浅倉むつ子（21世紀の社会とジェンダー研究連絡委員会委員長、早稲田大学）

第一部 「ジェンダーと人間の安全保障：政治と法」

司会者 ロニー・アレキサンダー（神戸大学）

コメンテーター 初瀬龍平（京都女子大学）

羽後静子（中部大学） 「国際関係論の観点から」

岡野八代 (立命館大学) 「政治理論の観点から」
 第二部 「ジェンダーと人間の安全保障：地域からの視点」
 司会者 岡本三夫 (広島修道大学)
 コメンテーター 清水耕介 (龍谷大学)
 中西久枝 (名古屋大学) 「中東研究の観点から」(交渉中)
 戸田真紀子 (天理大学) 「アフリカ研究の観点から」
 柄谷利恵子 (九州大学) 「EU研究の観点から」

総合討論

閉会挨拶 まとめ・土佐弘之 (神戸大学)

(浅倉むつ子 早稲田大学)

Jaicows 会員一覧

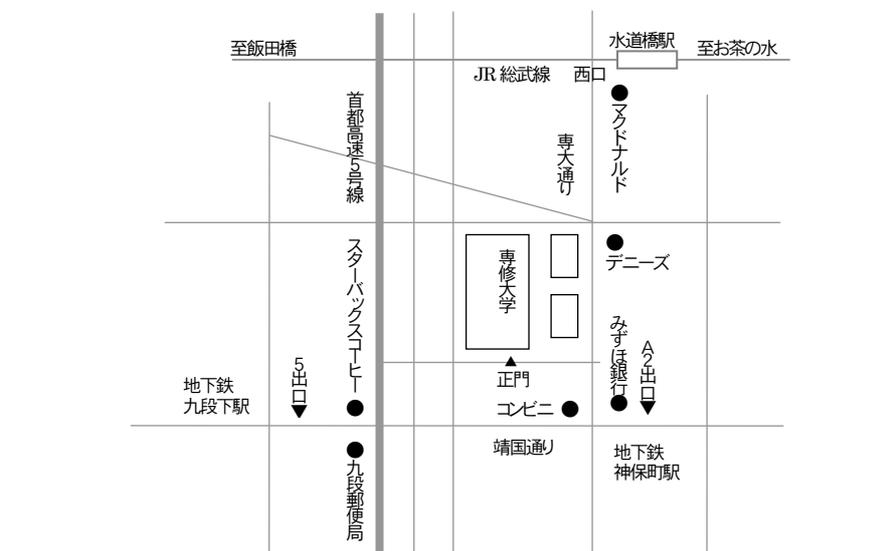
順不同敬称略。細かい所属については第三者にはわかりにくいところもあり、大学院との区別を含めて省略させていただきました。まちがいなどありましたら、事務センターまでご一報ください。また情報管理にご注意ください。

青柳 真智子 (京都文京大)	秋吉 祐子 (聖学院大)	浅倉 むつ子 (早稲田大)
芦澤 玖美 (大妻女子大)	阿部 幸子 (青山学院女子短大)	阿部 祥子 (佛教大)
池田 裕恵 (東洋英和女学院大)	石井 摩耶子 (恵泉女学園大)	石川 幹子 (慶應義塾大)
石田 瑞穂 (防災科学技術総合研)	磯野 弥生 (東京経済大)	市川 須美子 (獨協大)
一番ヶ瀬 康子 (長崎純心大)	伊藤 セツ (昭和女子大)	井上 輝子 (和光大学)
岩崎 不二子 (電気通信大)	岩見 照代 (麗澤大)	上野 千鶴子 (東京大)
江澤 郁子 (日本女子大)	大隅 正子 (日本女子大)	太田 陽子 (専修大)
大野 凜	岡田 依里 (横浜国立大)	小川 智子 (岩手看護短大)
加賀谷 淳子 (日本女子体育大)	柏木 恵子 (文京学院大)	加藤 春恵子 (東京女子大)
加藤 万里子 (慶應義塾大)	岸 玲子 (北海道大)	岸本 美緒 (東京大)
木野内 清子 (大妻女子大)	窪田 暁子 (中部学院大)	栗原 尚子 (お茶の水女子大)
黒田 玲子 (東京大)	桑原 洋子 (龍谷大)	玄番 央恵 (関西医科大)
小池 裕子 (九州大)	郷 通子 (長浜バイオ大)	
小林 和子 (財団法人日本証券経済研究所)		小松 浩子 (聖路加看護大)
酒井 シヅ (順天堂大)	酒井 豊子 (放送大)	坂倉 照好
桜井 万里子 (東京大)	佐々木 幸子 (㈱トヨタ コンポソ研究)	
颯田 葉子 (総合研究大学院大)	佐藤 禮子 (放送大)	猿橋 勝子 (地球化学研究協会)
重定 南奈子 (奈良女子大)	島田 淳子 (昭和女子大)	島村 礼子 (津田塾大)
志村 純子 (国立環境研究所)	下村 道子 (大妻女子大)	鈴木 益子 (仙台真菌学研究所)

関根 理香 (静岡大)	袖井 孝子 (お茶の水女子大)	高野 加寿恵 (東京女子医科大)
田端 光美 (北九州市立大)	田村 すず子 (早稲田大)	田村 照子 (文化女子大)
富樫 茂子 (産業技術総合研究所)	土器屋 由紀子 (江戸川大)	時子山 ひろみ (日本女子大)
鳥居 淳子 (成城大学)	直井 道子 (東京学芸大)	中川 昌子 (神奈川大)
中島 明子 (和洋女子大)	長野 ひろ子 (中央大)	中濱 信子
中間 美砂子 (國學院大)	波平 恵美子 (お茶の水女子大)	西尾 成子 (日本大)
西川 純子 (独協大)	西原 鈴子 (東京女子大)	西村 多嘉子 (大阪商業大)
丹羽 雅子	野口 哲子 (奈良女子大)	畑井 朝子 (函館短期大)
畑江 敬子 (お茶の水女子大)	馬場 房子 (亜細亜大)	林 雅子
原 ひろ子 (放送大)	春山 成子 (早稲田大)	樋口 康子 (日本赤十字看護大)
日野川 静枝 (拓殖大)	平木 典子 (日本女子大)	別府 恵子 (松山東雲女子大)
増井 光子 (横浜市よこはま動物園)	松岡 明子 (共立女子短期大)	松田 佳子 (徳島大)
松本 和子 (早稲田大)	三田村 雅子 (フェリス女学院大)	三宅 興子 (梅花女子大)
宮本 美沙子	室伏 きみ子 (お茶の水女子大)	毛里 和子 (早稲田大)
森島 啓子 (東京農業大)	安川 悦子 (福山市立女子短大)	梁瀬 度子 (武庫川女子大)
山口 規容子 (恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター)		
山下 香枝子 (慶応義塾看護短大)	山本 雅代 (関西学院大)	笠 耐 (上智大)
加地 芳子 (京都教育大)	牧野 カツコ (お茶の水女子大)	
奥村 幸子 (国立天文台野辺山宇宙電波観測所)		中山 栄子 (昭和女子大)
陶山 容子 (島根大)	渡辺 美智子 (東洋大)	稲垣 千代子 (関西医科大)
今村 清子 (横浜市立市民病院)	水田 祥代 (九州大)	
久保田 智恵利 (Department of Plant Sciences)		長谷川 眞理子 (早稲田大)
鷺谷 いづみ (東京大)	林 弘子 (福岡大)	高木 都 (奈良県立医科大)
水村 和枝 (名古屋大)	森下 郁子 (大阪産業大)	菅原 美子 (帝京大)
宮城 妙子 (宮城県立がんセンター研究所)		伊達 ちぐさ (武庫川女子大)
斎藤 和子	岩井 宜子 (専修大)	井上 和子 (神田外語大)
大島 範子 (東邦大)	和田 淑子 (関東学院大)	藤本 満子 (華頂短期大)
辻村 みよ子 (東北大学大)	神長 百合子 (専修大)	長崎 暢子 (龍谷大)
望月 優子 (理化学研究所)	山本 洋子 (岡山大)	瀧田 佳子 (東京大)
青柳 みどり (独)国立環境研究所)	小舘 香椎子 (日本女子大)	羽場 久み子 (法政大)
國枝 タカ子 (茨城大)	屋富祖 昌子 (琉球大)	江原 由美子 (東京都立大)
相馬 芳枝 (独立行政法人産業技術総合研究所)		岩崎 和子 (東京成徳大)
吉田 薫 (東京大)	佐藤 やよい (関西大)	小澤 紀美子 (東京学芸大)
戒能 民江 (お茶の水女子大)		

総会等会場の専修大学神田校舎へのアクセス

- 住 所 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8



- 周辺インフォメーション 東京ドーム、日本武道館、古本屋街、スポーツショップ街

- 水道橋駅 (JR) 西口より徒歩 7 分
- 九段下駅 (地下鉄/東西線、都営新宿線、半蔵門線) 出口 5 より徒歩 3 分
- 神保町駅 (地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線) 出口 A2 より徒歩 3 分

連絡先：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会 (JAICOWS) 事務局
 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8 専修大学法科大学院 岩井宜子
 Tel 03-3265-6917 Fax 03-3265-6962
 E-mail ths0494@isc.senshu-u.ac.jp
<http://sunrise.hc.keio.ac.jp/~mariko/jaicows/>

事務センター：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-2 大橋ビル 株式会社ワールドプランニング
 Tel 03-3431-3715 Fax 03-3431-3325 E-mail world@med.email.ne.jp

郵便振替 口座番号 00100-8-542793